

令和 8 年度河川・地下水水質調査業務実施仕様書

目 的

河川については、環境省の「生活環境の保全に関する環境基準」5項目、生活排水による汚濁の指標となる5項目について水質調査を行い、各河川の汚濁の傾向を把握し河川水質浄化対策に活用するために実施する。

地下水については、南アルプス市は果樹地帯と工業地帯を併せ持っており、果樹地帯等での農薬、工場排水等から地下水への影響、地下水の水質の状況把握と監視を行うために実施する。

業務内容

1. 調査区分

- ①河川等
- ②地下水（井戸水等）

2. 河川等

- ①調査箇所
 - 市全体を対象に、各流末、合流点等にポイント設定する。
 - ポイント数 25ポイント（別紙）
- ②調査項目
 - 10項目（別紙）
- ③実施頻度
 - 年間2回実施する。夏季（7～9月）、冬季（1～2月）に実施する。
- ④その他
 - 採水日は同日とする。

3. 地下水

- ①調査箇所
 - 市内を南北に4分割（A・B・C・D）、東西に3分割（上・中・下）した12ブロック内で、ブロックごと1ポイント（12ポイント）の調査を実施する。→別紙
 - 各ブロック内のポイント設定はその都度状況に応じて設定する。
- ②調査項目
 - 9項目（別紙）
- ③調査頻度
 - 年間1回、夏季（7～9月）に実施する。

4. 調査結果

- ①報告書の作成
 - 区分ごとにデータをまとめ1冊の報告書として2部を提出する。
 - 報告書の書式は県の「公共水域及び地下水の水質測定結果」に準じ、詳細については別途協議する。
 - 詳細データは報告書とは別にエクセル等データでも提出する。
 - 中間報告を証明書により提出する。
 - 調査により明らかに変動した数値が確認された場合、追跡調査を行う。
 - 基準値における結果及び考察を行うこと。生活環境の保全に関する環境基準・農業用水基準関で比較を行うこと。また、前年度数値と比較を行い、人為的影響等について考察を行うこと。
- ②地域への説明
 - 野牛島地区に対する、市主催水質結果報告会において、当該業務結果報告を行う。（例年3月実施）

5. 受託者の要件

計量法に基づく計量証明事業（濃度関係）の登録を受けている事業者であること。

6. 技術者の配置

本業務の実施にあたり、環境計量士（濃度関係）の資格を有する主任技術者を配置すること。